

信頼と絆 私はブレない

討議資料

衆議院議員

田中

りょうせい
良生

国政ニュース vol.110
2021冬号

岸田内閣本格始動!



「岸田内閣」本格始動、令和3年度補正予算案の年度内成立を目指す!

政府は、令和3年度補正予算・令和4年度本予算を合わせて16ヶ月予算とし、2023年3月まで切れ目なく景気をテコ入れするため経済対策を年内に開始します。

岸田内閣は、新型コロナウイルス感染症対応に万全を期すと共に

『新しい資本主義』を起動させ『成長と分配の好循環』を実現するため4つの柱を基本とする経済政策を策定しました。

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の徹底と万全な医療体制の確保・ワクチン接種・治療薬の確保等を着実に進める。

2. 『ウィズコロナ』下での経済活動の再開と危機管理の徹底を進める。感染症拡大の影響を大きく受けた分野における需要喚起の取組を積極的に行い通常に近い社会経済活動の回復を図ると共に国産ワクチンや治療薬の研究開発・生産体制強化を進める。

3. 『新しい資本主義』(経済を成長させその果実を原資として分配に取り組み国民所得を引き上げ更なる成長につなげる)を起動させる。その為にポストコロナ社会を見据えた成長戦略を強力に推進すると共に「民間部門における分配強化に向けた強力な支援」と「公的部門における分配機能の強化」の分配戦略を実行する。

特にクリーンエネルギー推進をはじめイノベーションの抜本的強化による『科学技術立国の実現』、デジタル技術を活用し地方の生産性向上と地域の活性化を実現する『デジタル田園都市国家構想』、安全保障と経済を横断する問題が顕在化する中で『経済安全保障の抜本的強化』により自律的な経済構造の実現を図る。上記政策と並行して分配戦略として『人への投資』を強化し、賃上げ支援・非正規労働者等への分配強化・子育て支援等により、一人ひとりの生産性向上とこれまで成長の恩恵を受けていない方々への分配機能を強化する。

4. 国民の安全・安心の確保のため防災減災と東アジア安全保障の確立に努める。

上記4つの柱を踏まえて各省庁から試案として提出された具体的施策を喧々譁々の議論を経ながら練り上げていきます。

来年2022年の干支は「壬寅(みずのえ・とら)」、干支の意味は「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ華々しく生まれると言われています。コロナ禍の厳しい現状を打破し、次世代の発展につながる経済政策を果敢に実行できるよう尽力する所存です。

衆議院議員 田中 良生



第49回衆議院議員総選挙においては、菅前総理、岸田総理、河野前大臣、小泉前大臣が応援に入り、白熱した論戦が繰り広げられた。



災害に備え、町を守る



国交副大臣時、笹目橋上流堤防整備を強力に推進し、2019年完成に至る。台風19号による堤防越流を未然に防ぎ、荒川周辺の安全を守る。

通学路整備を進め、市民の交通安全を守る



子供たちの安全な通学路を確保すべく、町谷北歩道橋・西堀歩道橋・秋ヶ瀬歩道橋など歩道橋整備、信号機の設置、照明灯の増設、防犯カメラの設置、防風壁の設置などを実現し、地域の安心・安全の確保に全身全霊で取り組む

命を守る



蕨駅での人身事故を受け、JRに要請し京浜東北線駅にホームドアを設置。浦和レッズの浦和美園駅にも

国を守る



国土交通副大臣として海上保安学校の卒業式に出席。国防に務める卒業生に心より敬意と感謝を表す

健康を守る



「新型コロナウイルスワクチン集団接種訓練」を視察し、効率的で安全な手順を検証

女性活躍を進める



内閣府副大臣(女性活躍・男女共同参画担当)として、女性議員増やセクハラ対策に取り組む

子どもたちが自らの可能性を伸ばせる教育を



ICTを最大限活用しながら、子供たちの「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な拡充を目指す。地元で長年、幼児教育・英語教育に携わっているコール淳美先生とも対談【良生ちゃんねるにて公開中！】



田中良生
公式HP



tanaka-ryosei.com



Facebook「田中 良生」



twitter「Tanaka_Ryosei」



「良生ちゃんねる」



公式blog「凛とした国へ」